

新 小 山 最 終 処 分 場 の 概 要

施設概要

区 分	計 画 内 容
施 設 面 積	施設総面積 : 327,700 m ² 埋立地面積 : 168,300 m ² 管理施設等面積 : 53,400 m ² 緑地面積 : 106,000 m ² (残存緑地 : 29,400 m ² 、造成緑地 : 76,600 m ²)
埋 立 容 量	埋立総容量 : 3,657,800m ³ 内訳 ① 廃棄物量 : 3,095,600m ³ ② 覆土等量 : 562,200m ³
埋立処分できる廃棄物	【産業廃棄物】 廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む。）、 ガラスくず等（石綿含有産業廃棄物を含む）、金属くず （上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を含む。） 燃えがら（水銀含有ばいじん等を除く。）、汚泥（水銀含有ばいじん等を 除く。）、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、 鋳さい（水銀含有ばいじん等を除く。）、がれき類（石綿含有産業廃棄物 を含む。）、ばいじん（水銀含有ばいじん等を除く。）、令 13 号廃棄物 以上 14 種類
	【一般廃棄物】 不燃ごみ、混合ごみ ※ 災害に伴って発生した一般廃棄物に限る。 ※ 混合ごみとは、分別が困難で不燃ごみと可燃ごみが混在したものをいう。
埋 立 工 法	重機による転圧片押工法
埋 立 構 造	準好気性埋立構造

（１）遮水施設

遮水施設は、埋立地内で発生する浸出水の流出を防止する施設です。

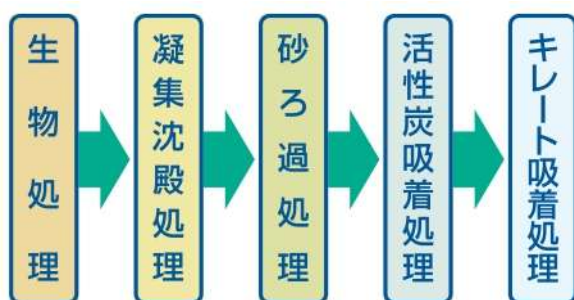
埋立地全面に二重の遮水施設を設置しています。法面部は遮水シートの二重構造です。底面部は粘土やセメントを混ぜた土（混合土）を敷き固めて、強固で不透水性の地盤（土質遮水層）を造成し、その上に遮水シートを敷設しています。



（２）浸出水処理施設

浸出水処理施設は、埋立地内から排出される浸出水を所定の水質まで浄化する施設です。

・ 処理方式



・ 浸出水処理施設の処理能力

名称	処理能力
浸出水処理施設	650 m ³ /日



新小山最終処分場 全景写真

第4期埋立地(増設区域)

第2期埋立地(埋立中)

第1期埋立地(埋立中)

第3期埋立地

洪水調整池

新設洪水調整池

せせらぎ緑地(緩衝緑地帯)

いこいの広場

浸出水処理施設

2024年10月時点